

常設展評価シート(1/2)

施設名	大阪文化財研究所		展覧会名	天王寺区役所文化財展示コーナー		
概要・実績	目的	<p>大阪市博物館協会が長年市内各地で行ってきた発掘調査の成果を公開する「街角ミュージアム」の一環として展示した。</p> <p>天王寺区内には文化財の展示施設がなく、重要な発見が相次いだ細工谷遺跡や上本町遺跡の発掘調査を通じて、地域住民に遺跡と研究成果を紹介する。また、長くコーナーを維持するために、開設にあたって市民団体や区役所などと協働することで目的の共有化を図った。</p> <p>さらにできあがったコーナーを見学会や講座などの新たな事業で活用することで、活動の活性化を図ることを目指した。</p>				
	会期	平成21年2月1日～継続		会期	継続中	
	主催	展示主体：大阪文化財研究所・天王寺区役所・大阪市コミュニティ協会				
	共催・後援	NPO法人かなえ会・てんのうじ観光ボランティアガイド協議会				
	協賛・助成					
	観覧料	無料		無料対象者		
	観覧者総数		有料入場			
	作品件数	25	うち、借用	0		
	関連事業	<p>(・展示解説 ・講演会 ・講座 ・ワークショップ ・現地見学)</p> <p>その他 (区役所主催の遺跡見学会で展示解説、市民ボランティアによるガイドツアーでの展示解説)</p>				
	企画・実施	大阪文化財研究所				
成果	<p>細工谷遺跡・上本町遺跡の出土品を中心とした展示を行い、解説リーフレットを配布して、天王寺区における重要な2遺跡を紹介するコーナーを開設した。開設には地域のボランティアガイドをはじめとする市民団体や区役所の協力を得て、低予算で実現した。</p> <p>開設後、市民団体や区役所による見学ツアーなど新規事業に利用されるようになっていく。</p>					
補足事項	<p>平成22年に上本町遺跡で「難波京条坊」の橋脚跡が発見されたことを契機に、平成23年10月に展示を更新し、最新の成果を反映させた。やや遅れたが、それに合わせて配布用リーフレットの内容も更新した。</p> <p>天王寺区役所主催で細工谷遺跡や上本町遺跡の見学会 (30名程度：平成21・23年度は展示見学も含む) を行い、研究所からは講師を派遣している。</p>					

常設展評価シート(2/2)

施設名		大阪文化財研究所		展覧会名		天王寺区役所文化財展示コーナー										
定 量 評 価	入場者数		予算		外部資金		総事業費		観覧料収入		その他収入		収入合計		図録販売数	
	目 標															
	実 績															
達 成 率																
定 性 評 価	実績・伝統の継承と新たな魅力創出	評 価 点	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の発掘を主たる任務としている組織が地域の文化資源を地域の住民に見てもらう機会を積極的に作っていることを大いに評価したい。また、地域の実情に応じて、区役所、学校、企業等に展示空間を設けていることも、地域の文化資源の保管と活用の在り方を考える上で有意義な事業である。本事業を契機に文化財と地域の歴史を理解するための様々な取り組みが行われていることを評価する。 事業予算が措置されていないにもかかわらず、使用しなくなった展示ケースをリユースするなどの工夫をしながら、関係者と協力して展示空間をつくったことを評価する。 													
		改 善 点	<ul style="list-style-type: none"> 展示物の展示替を行うのか、行う場合にはどのようなサイクルで行うのか等、展示のマネジメントの方針を明確にすることが望まれる。また、展示空間の提供者と展示の在り方について認識の共有化を図っておくことが望まれる。 文化財の発掘を主たる業務とする文化財研究所が展示事業を実施することには限界がある。関係する機関・団体間で、どのような役割分担の下、事業を実施していくのか、事業効果を高めるためにはどのような連携を図っていくのか等について、大阪市の参画も得て、関係者間で十分協議し、成案を得てほしい。 													
	さまざまな来館者への対応	評 価 点	<ul style="list-style-type: none"> 区役所内の展示コーナーであることから、展示についての創意工夫を図る上で様々な制約がある。決して十分とは言えない条件の中で、わかりやすい展示を目指して努力していることを評価したい。 													
		改 善 点	<ul style="list-style-type: none"> 専門の展示施設ではないので、様々な努力がどこまで実を結ぶか十分見極めながら、文化財研究所が可能な範囲内で対応してほしい。また、大阪歴史博物館等専門の展示施設で展示品を公開することで、一人でも多くの市民に発掘された文化財を見てもらう機会を市民に提供してほしい。 													
	連携による総合力の発揮	評 価 点	<ul style="list-style-type: none"> 文化財研究所と市民団体、行政等の連携は、十分図られており、展示コーナーの開設による成果が大きくなっている。 													
		改 善 点	<ul style="list-style-type: none"> 開設して時間が経過していく中で、連携が次第に形骸化することないように留意してほしい。 													
	ニーズに即し効果的な事業展開	評 価 点	<ul style="list-style-type: none"> 地域の文化資源を地域住民に広く公開するというニーズに対して、適切に対応できている。 													
		改 善 点	<ul style="list-style-type: none"> 広報については、文化財研究所で行うよりも、区役所等が行う方がより効果があることも多いと思われるので、関係機関・団体との連携を図りながら進めてほしい。 													
	総 評	評 価 点	<ul style="list-style-type: none"> 最新の発掘調査と研究成果である文化資源を当該文化資源に最も関係の深い地域で公開することにより、地域住民の地域社会への理解を深め、市民意識を高めることは、我が国の地域社会を再生・活性化する上で極めて重要な事業である。 地域社会の様々な機関・団体、個人が参画し、連携することで事業に厚みを増していることを評価したい。 													
		改 善 点	<ul style="list-style-type: none"> 展示コーナーの立ち上げから現在に至るまで構築してきた各種の連携のネットワークの維持・発展に努めてほしい。なお、文化財研究所は展示の専門機関ではない。このことを十分踏まえて、展示の専門施設との連携を図り、広範な協力を得ることにより、効果的な展示活動を実現してほしい。 展示場所が多すぎるきらいがあり、もっと集約すべきと思える。 													